

1 戦略的な観光地域づくり

(1) 戦略的な観光地域づくりの体制整備（日本版DMO）

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ICTを活用したデータの収集・分析事業 (8,463千円)	28年度に開始した富山県立大学との共同研究を継続し、旅行者へのウェブアンケート調査やアプリ等を活用した旅行者データの蓄積・管理・分析を実施。	観光振興室
訪日外国人観光客の広域周遊状況調査等事業 (3,511千円)	新幹線駅、近県の主要観光地において観光客の広域周遊状況を調査・分析するとともに、外国人観光客を対象としたアンケート調査を実施した。	観光振興室
富山県観光客動態調査（観光地点パラメータ調査）事業 (3,456千円)	県内での訪問地点数や観光消費額等について、観光客に面接アンケートを実施した。	観光振興室
観光マーケティング戦略委員会運営等事業 (3,478千円)	有識者、観光関係事業者等で構成する「観光マーケティング戦略委員会」において、DMOの取り組みを報告し、方向性について意見を伺った。	観光振興室
関係者を巻き込むための普及啓発事業 (134千円)	DMOの取り組みについて、関係者に理解を深めてもらうための勉強会を開催した。	観光振興室
観光資源重点磨き上げ支援プロジェクト実施事業 (6,264千円)	意欲のある市町村と連携し、四季を通じて県内の上質なライフスタイルを体験できる富山ならではの観光資源の掘り起こし・磨き上げを行った。	観光振興室
新旅行造成市町村タイアップ事業 (16,000千円)	市町村と連携し、冊子やSNSを活用して観光資源の魅力を発信し、周遊性を高めることなどで、県内の滞在時間の増加を促進した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まるごと旅行商品化プロジェクト実施事業 (16,079千円)	県内市町村、観光協会、観光事業者等と連携し、着地型旅行商品の商品化をサポートするとともに、大都市圏を中心とした大手旅行会社への営業活動を行い、旅行会社による富山旅行商品の造成を促進した。	観光振興室
マーケティングデータに基づくPR事業 (14,313千円)	マーケティングデータに基づき、SNSを活用した富山の魅力の拡散に努め、オンラインエージェントと連携したプロモーションを行うとともに、とやま観光ナビの発信力強化、近隣県タウン誌への記事掲載をはじめとしたメディアへのPRを促進した。	観光振興室

(2) グローバル化に対応した次世代の観光を担う人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来創造塾事業 (8,803千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。 ○修了生 53名 (内訳)観光おもてなし入門コース 19名 観光ガイドコース(中級専攻) 12名 観光ガイドコース(上級専攻) 1名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 7名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 3名 〃 (観光地域リーダー専攻) 6名 観光地域づくりマネジメントコース 2組5名	観光振興室

(3) 地域の観光を支える人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来 創造塾事業（再 掲） (8,803千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。</p> <p>○修了生 53名 (内訳)観光おもてなし入門コース 19名 観光ガイドコース（中級専攻）12名 観光ガイドコース（上級専攻）1名 観光ガイドコース（インバウンド専攻）7名 観光魅力アップコース（食のおもてなし専攻）3名 〃（観光地域リーダー専攻）6名 観光地域づくりマネジメントコース 2組5名</p>	観光振興室
おもてなしタク シードライバー 養成事業 (1,382千円)	<p>タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細やかなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」を表彰し、ドライバーの接遇やサービス意識の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成研修：平成30年7月12日 ・表彰：平成30年12月2日、表彰者21人 <p>コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月7日・14日・28日・29日、8月9日 ・参加者117人 <p>来県者に心地良くタクシーに乗車していただくため、関係者間で協議し、おもてなしの機運を高めることを目的とした「タクシードライバー接遇ブラッシュアップ会議」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月12日、12月25日 	観光振興室
おもてなし強化 促進事業 (2,985千円)	<p>おもてなし力の向上と機運醸成を図るため、『休んできれ。』宣言」登録事業者を対象に、おもてなしのステップアップを促進する「観光おもてなし5つ星制度」を導入し、セミナー開催やウェブサイトの充実によるロゴマークの普及促進等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セミナー実施日：平成30年10月29日、平成31年1月30日、平成31年2月4日・14日 ・参加人数：205名（84事業者） ・1つ星登録事業者数：70事業者 	観光振興室

(4) 旅行者の満足度を向上させる受入環境の整備・支援

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (5,039千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光案内標識（県事業） 設置件数 1件 ・外国語観光サイン整備（市町村補助事業） 補助件数 新規6件 改修13件 	観光振興室
旅館施設近代化 等促進事業 (16,399千円)	<p>宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対して融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）し、宿泊施設の誘客力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・融資件数 継続分 5件 	観光振興室
クルーズ乗船客 おもてなし向上 事業 (4,496千円)	<p>港湾所在市が行うクルーズ客船寄港時の歓迎式典や花火打上げ等へ支援するとともに、物販コーナー、観光案内所の設置等により、おもてなしの充実を図った。</p>	観光振興室
自然公園等整備 事業等 (92,266千円)	<p>わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上などを図った。</p>	自然保護課
生活衛生関係営 業施設における 利用者サービスの 向上に対する 支援 (505千円)	<p>旅館ホテルマップ及び飲食店マップを作成し、宿泊施設や料理店舗、観光案内所等に配置する事業に対し補助を行った。</p>	生活衛生課
有峰森林文化村 推進費 (47,765千円)	<p>豊かな森林を有し、多くの人々が訪れる風光明媚な有峰において、有峰森林文化村公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、利用者が安心して施設利用等ができるよう施設整備（保守点検）等に努めた。</p>	森林政策課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
県立都市公園の 整備・改修 (973,950千円)	<p>県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園 	都市計画課
県立都市公園の 維持管理 (982,036千円)	<p>県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県立都市公園 県民公園太閤山ランド、総合運動公園、五福公園、岩瀬スポーツ公園、常願寺川公園、空港スポーツ緑地、富岩運河環水公園、県庁前公園、県民公園新港の森 	都市計画課 環境政策課

(5) 観光産業と他産業の連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公社) とやま 観光推進機構運 営費等補助金 (10,757千円)	富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(公社)とやま観光推進機構の運営に対し補助を行った。	観光振興室
(公社)日本観光 振興協会負担金 (718千円)	(公社)日本観光振興協会への負担金の拠出により、観光旅行の利便性向上など、同協会の事業に対し支援を行った。	観光振興室
とやま起業未来 塾事業 (20,596千円)	<p>「夢」「情熱」「志」を持った創業者、世界に羽ばたく企業人を育成する「とやま起業未来塾」を開講し、産業の活性化による活力ある県づくりを進めることにより、誘客促進等につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修了者数 20名 	経営支援課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま伝統工芸 P R 展示会 in Paris (8,400 千円)	本県の優れた伝統工芸品の海外販路開拓を支援するため、パリにおいて展示会、交流会等を行い、富山の伝統工芸品を P R した。	経営支援課
とやまの地域産 業魅力発信事業 (4,081 千円)	本県の優れた伝統工芸品の海外販路開拓を支援するため、タイにおいて展示、製作体験等を行い、富山の伝統工芸を P R した。	経営支援課
伝統工芸海外魅 力発信事業 (2,000 千円)	日仏友好 160 周年を記念し、パリを中心に実施された日本文化紹介行事「ジャポニスム 2018」に参加し、富山県の優れた伝統工芸品を P R した。	経営支援課

(6) 観光の担い手としての事業者・県民の意識醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ハローとやま☆ 貼ろう事業 (1,188 千円)	富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、観光客の誘致促進を図った。 ・作成部数 増刷 2,750 部 (6 種類)	観光振興室
ふるさと魅力発 見 P R 事業 (5,144 千円)	富山の自然、歴史や文化などを学ぶ検定「越中富山ふるさとチャレンジ」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見し、誇りをもって全国に P R する意識の醸成を図った。 ・受検者数 744 名	地域振興課
富山ふるさとマ スター派遣事業 (1,029 千円)	学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等(富山ふるさとマスター)を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。 ・富山ふるさとマスター登録者数 20 人 ・派遣回数 32 回	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま県民協働 未来創生事業補助金 (4,424千円)	<p>県内のボランティア団体等が、他の団体、自治振興会、企業等と協働し、新たな発想で地域活性化を図る事業に対して、広く支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 15件 	少子化対策・県民活躍課
富山の文化遺産 魅力発信事業 (368千円)	<p>とやまの文化遺産魅力発信事業実行委員会を立ち上げ、重要文化財「常願寺川砂防施設」やユネスコ無形文化遺産をはじめとした本県の文化遺産の魅力の情報発信を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とやまの曳山」冊子作成 3,000部 ・とやまの文化遺産HPの作成 等 	生涯学習・文化財室
文化財の美装化 等推進事業 (11,968千円)	<p>重要伝統的建造物群保存地区「山町筋・金屋町」の町並みの外観修理や重要文化財「勝興寺」の防災設備の設置等に対して、支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 3件 	生涯学習・文化財室
文化財ボランティアの外国人 対応力向上事業 (639千円)	<p>県内の文化財ボランティアを対象に外国人観光客対応講座を開催するとともに、英語通訳ボランティアの養成研修を行い、文化財ボランティアの活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おもてなし向上講座の開催（1回、参加者52名） ・英語通訳ボランティア養成研修（3回、参加者16名） 	生涯学習・文化財室

2 広域観光の拠点化

(1) 広域観光ハブ（交通結節点）としての優位性を活かした拠点整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域観光案内所 運営事業 (8,100千円)	新幹線駅など、県内4か所の広域観光案内所の運営に対し支援を行った。	観光振興室
訪日旅行・富山 旅行センター運 営事業 (17,425千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室

(2) 主要駅・空港と観光地を結ぶ二次交通の整備・利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ぐるっと富山観 光地アクセス充 実事業 (20,518千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の主要駅等を発着する観光路線バス、ツアーバスの運行経費の一部を助成した。 ・補助件数 観光路線バス 4件 ツアーバス 13件	観光振興室
乗りたくなる公 共交通推進事業 費 (1,142千円)	交通事業者等が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み（車両のラッピングなど）を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。 ・補助件数 5件	総合交通政策室
新幹線アクセス 路線バス等運行 支援事業費 (4,536千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶアクセス交通の運行事業に対し支援した。 ・補助件数 3件	総合交通政策室
富山空港利用促 進事業 (446千円)	富山空港を利用するインバウンド旅行の実施旅行会社に対して国内移動のためのバス経費を助成し、富山空港を利用した広域観光の推進を図った。 ・補助件数 国内線 2件（2台） 国際線 10件（10台）	総合交通政策室

(3) 広域観光の拠点としての賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園等賑わい空間創出事業 (19,185千円)	<p>富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏まつり」「スイートクリスマス」「ウインターファンタジア」での音楽花火のショーや水辺のコンサートなどのアーティスティックなイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など 	観光振興室
学習支援船の運航事業 (5,000千円)	<p>富岩運河を活用した学習支援船(富岩水上ライン)の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を支援するとともに、富岩運河の魅力向上や活力ある地域づくりの促進を図った。</p>	観光振興室
富岩水上ライン利用促進事業 (4,333千円)	<p>富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リーフレット・ポスター作成、9周年イベントの開催 など 	観光振興室
富岩水上ライン新艇建造事業 (135,964千円)	<p>富岩水上ラインの需要増加に対応し、富岩運河環水公園の更なる賑わい創出や魅力向上を図るため新艇「kansui」を建造した。</p>	観光振興室
富岩水上ライン新艇PR事業 (1,588千円)	<p>新艇「kansui」の建造にあわせ、名称募集や就航式の開催等により、県内外に富岩水上ラインのPRを図った。</p>	観光振興室

3 富山らしい魅力創出：量から質への転換を促進

(1) 世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」の高付加価値化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「立山黒部」世界ブランド化推進事業費 (15,684千円)	<p>「立山黒部」の保全と利用を考える検討会において提案された各プロジェクトについて調査分析を行うとともに、プロジェクトの進捗管理やブラッシュアップを行うため、「立山黒部」世界ブランド化推進会議及び同ワーキンググループを開催した。</p> <p>・実施回数 推進会議 1回 ワーキンググループ 1回</p> <p>1956年（昭和31年）以来、60年余に及ぶ懸案であった黒部ルート的一般開放旅行商品化に関する協定を県と関西電力の間で締結した。</p>	観光振興室
「立山黒部」世界ブランド化PR動画制作事業費 (14,000千円)	ドローンを活用し、「立山黒部」エリアをはじめとする県内各地の臨場感ある映像を撮影、編集し、魅力を発信した。	観光振興室
「立山黒部」早期開業・冬季営業基礎調査事業 (10,590千円)	積雪期における「雪の大谷」周辺の気象等の調査を実施した。	観光振興室
「立山黒部」繁忙期ボトルネック解消事業 (407千円)	繁忙期の混雑緩和のため、ケーブルカーの代替輸送手段として運行する臨時バスの経費を支援した。	観光振興室
「立山黒部」新アクセスルート基礎調査事業 (10,800千円)	ロープウェイの整備について検討するため、環境への影響の調査・分析等を実施した。	観光振興室
立山黒部アルペンルート除雪事業 (12,000千円)	本県の代表的な観光地であり、長野県との広域観光にも大きな役割を果たす立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地区開発事業費 (1,789千円)	<p>世界文化遺産に指定されており、本県の貴重な観光資源である五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 1件 	観光振興室
立山山麓レクリエーション地区整備推進事業負担金 (313千円)	<p>立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客促進及び広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成や旅行会社等への宣伝活動の展開 ・標識や案内看板等の整備 など 	観光振興室
世界遺産登録推進事業 (6,500千円)	<p>「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等 	企画調整室
「立山黒部」エリアにおける通信インフラ整備事業 (63,641千円)	<p>立山黒部の世界ブランド化を推進するため、人気の登山ルートである立山五色ヶ原の携帯電話不感エリアの解消に向けた基地局整備工事（電源ケーブル敷設）に着手したほか、立山荘など弥陀ヶ原地区の宿泊施設等への商用電源供給に向けた調査及び室堂周辺におけるTOYAMA Free Wi-Fiの利用エリアの拡大等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たに追加した利用可能エリア（H30） 4箇所（室堂周辺の山小屋、キャンプ場周辺） 	情報政策課、生涯学習・文化財室、防災・危機管理課
立山博物館管理運営費 (283,955千円)	<p>立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、2回の企画展の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。</p>	文化振興課
立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (135,764千円)	<p>立山カルデラの自然・歴史や、100余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。</p> <p>博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について深く理解できる体験学習会（5種類のコースで27回、881人参加）を実施し、県内外の参加者にPRを行った。</p>	砂防課

(2) 世界で最も美しい富山湾の魅力を活かした観光資源の発掘・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
官民連携「世界で最も美しい富山湾」活用・保全推進事業 (4,242千円)	官民がこれまで以上に連携・協力して富山湾の活用・保全に取り組む体制を推進するため、富山湾の活用・保全に関する新たな取組みへの支援等に取り組んだ。	観光振興室
新湊マリーナ活用推進事業 (6,640千円)	新湊マリーナへの自家用船舶オーナー誘致を図るため、県外船舶オーナーを対象とした新たな交流体験ツアーや県外在住者を対象としたレンタルボートを実施するとともに、日本最大級のヨットレース「タモリカップ富山大会」への開催支援等に取り組んだ。	観光振興室
富山湾岸サイクリング誘客プロモーション事業 (4,488千円)	国内外からのサイクリストの誘客を図るため、首都圏の大学のサイクリング同好会やサイクリストブロガーを対象としたモニターツアーの実施、欧米系メディアの招聘に取り組んだ。	観光振興室
富山湾岸サイクリングツアー商品造成促進事業 (4,403千円)	サイクリングを通じた富山湾の魅力発信・誘客促進のため、「富山湾岸サイクリング2018」を開催するとともに、大会に合わせて台湾旅行会社等の招聘等に取り組んだ。	観光振興室
「とやま海遊び」魅力発信事業 (2,572千円)	富山湾で楽しむマリンスポーツやレジャーの認知度向上を図るため、海のない近隣県等への出向宣伝、ジャパンインターナショナルボートショーへの出展等に取り組んだ。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」富山県総会開催準備事業 (1,739千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会 in 富山の開催に向け、実行委員会を設立するとともに、実施計画を策定した。	観光振興室
サイクリングコース整備事業 (127,600千円)	<p>「富山湾岸サイクリングコース」の延伸整備や、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーターラインの整備 ・コース分岐点路面表示の設置 ・自転車専用道路等の整備 	道路課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
海王丸保存活用 事業 (95,771千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室、カッター・セイリング教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課

(3) 豊かな食の磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「越中料理」推 進事業 (1,800千円)	新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、観光振興、交流人口の拡大を図った。 ・ウェブサイト「おもてなし『越中料理』」の充実 ・タペストリーの作成、越中料理提供店への配付 ・創作「越中料理」キャンペーンの実施	地域振興課
とやまブランド 全国発信支援事 業 (1,000千円)	業界の枠を超えた複数の業種等で構成された民間グループが実施する、商品等の認知度向上及び富山の地域イメージ確立を図るイベントの開催を支援し、とやまブランドの全国ブランド化を図った。 ・富山の酒とかまぼこフェア 日時 平成30年9月16日 場所 東京交通会館	地域振興課
イタリアン食の 祭典開催事業費 (10,849千円)	日本イタリア料理協会主催のイタリア料理イベントの開催を支援するとともに、県民・観光客向けのイタリア料理イベントを開催し、本県の多彩な食材や県産品の魅力発信と販路開拓を図った。 ・イタリアンパーティー「ACCI in 富山～イタリアンのタベ～」 日時 平成30年9月23日 場所 オークスカナルパークホテル富山 ・イタリアン食の祭典（一般向けイベント） 日時 平成30年9月24日 場所 富岩運河環水公園	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
地産地消の推進 (9,110千円)	ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。 ・「とやまの旬」応援団の募集(5,431名)と活動支援 ・県産品購入ポイント制度の実施 (約2万5千件の応募)	農林水産企画課
「とやま食の匠」の認定・普及 (322千円)	富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。 ・新規認定 9個人・団体(計 167個人・団体) ・講師派遣 42回	農林水産企画課
首都圏等での「食のとやまブランド」PR (4,340千円)	大消費地である首都圏等において、食のイベント等を開催し、富山の食の魅力をアピールした。 ・首都圏等のホテル・レストランと連携した食のフェアの開催	農林水産企画課
富山米のブランド力向上 (264,840千円)	県内外での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のためのPRなどにより、「富富富」など富山米のPRとブランド力向上を図った。	農林水産企画課
「富のおもちかえり」販路拡大・ブランド化事業 (1,449千円)	本県の農林水産品を活用したお土産品「富のおもちかえり」の販路拡大を目指し、県内外でのPR活動を行った。	農林水産企画課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (9,000千円)	「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・秋の陣(富山産業展示館、平成30年10月27日～28日) 県内外から約30,000人が来場 ・冬の陣(魚津市内、平成31年2月2日) 「越中料理と地酒を楽しむ会」 県内外から243人が参加(うち県外から60人参加)	農林水産企画課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ふるさと認証食品（Eマーク） 制度の普及 (415千円)	<p>県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品（Eマーク）」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6商品を新規に認証、延べ333商品 	農林水産企画課
「富山のさかな・水産加工品」 ブランド化推進事業 (25,120千円)	<p>全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、首都圏における重点PRや実食機会の拡大による評価向上に取り組んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページ等の多言語化（英語、北京語、台湾語） ・「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成31年2月6日 サ・キャピトルホテル東急（東京）) ・「うまさ一番 富山のさかな」商談会の開催 (平成31年2月6日 サ・キャピトルホテル東急（東京）) ・「富山のさかな」PR in大宮の実施 (平成30年11月11日・12日 JR大宮駅) ・「高志の紅ガニフェア」の開催 (平成30年10月22日～28日 日本橋とやま館) ・若者などの注目度の高い著名人の知名度やSNSの情報発信力を活かしたPR強化 など 	水産漁港課

（４）伝統文化、工芸品等上質な富山を提供する観光商品の開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
まちの未来創造 モデル事業 (29,134千円)	<p>地域資源を活用した住民主体の地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、まちづくり計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・増山城跡を核とした地域資源の魅力あふれるまち（砺波市） ・人と自然 心でつなぐ絶景のまち（朝日町） ほか7件 	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「富山県推奨とやまブランド」 推進事業 (13,717千円)	<p>「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3品目4事業者を新たに認定 ・認定品を紹介するパンフレット、PR映像を制作 ・日本橋とやま館において展示・販売イベントを実施 	地域振興課
「明日のとやまブランド」育成 支援事業 (5,923千円)	<p>事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・7品目8事業者を新たに選定 ・補助件数 21件 	地域振興課
地域文化力向上・活性化支援 事業 (4,400千円)	<p>県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 11件 	文化振興課
内山邸文化の魅力再生事業 (2,700千円)	<p>平成10年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。</p>	文化振興課
富山のデザイン 発信力強化事業 (1,705千円)	<p>「越中富山 幸のこわけ」に続くお土産ブランドとして、富山の素材と技を活かした小皿など工芸品ブランドの商品開発、PRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブランド名「越中富山 技のこわけ」 ・商品数8企業22商品（H30年度の開発商品） 	商工企画課
とやま中小企業 チャレンジファン ド ビジター 対応ビジネス支 援事業 (6,485千円)	<p>北陸新幹線開業、外航クルーズ船寄港、富山ー台北便増便等交通基盤の拡充に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択件数 7件 	経営支援課
とやま新事業創 造基金 農商工 連携ファンド事 業 (6,793千円)	<p>中小企業者と農林漁業者とが連携して行う新商品開発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力ある特産品の開発・普及を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施件数 2件 	経営支援課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
地産地消の推進 (再掲) (9,110千円)	ポイント制度の実施など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。 ・「とやまの旬」応援団の募集(5,431名)と活動支援 ・県産品購入ポイント制度の実施 (約2万5千件の応募)	農林水産企画課

(5) 産業観光、ロケ地、スポーツ等多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
多彩なツーリズムの展開による誘客促進事業 (11,107千円)	多様化する旅行者のニーズに応えるため、映画ロケ地としての実績を活用したロケツーリズム、ものづくり県の強みを活かした産業観光、「健康」や「癒し」をテーマとしたヘルスツーリズムの促進を図った。 【産業観光の促進】 ・産業観光魅力創出補助金による県内企業の受入態勢の整備に対する支援(4件) ・産業観光紹介コーナーPR用チラシ・ポスター作成 ・産業観光施設紹介カードを追加作成(12施設) 【ロケツーリズムの促進】 ・東京都内での交通広告等によるPRの実施 【ヘルスツーリズムの促進】 主に首都圏の女性をターゲットに、ヘルスツーリズムをテーマにしたツアーを実施した。	観光振興室
産業観光PR強化事業 (1,700千円)	富山県民会館1階ロビーに、県内各地の魅力的な産業観光施設を紹介するコーナーを整備した。	観光振興室
教育旅行誘致促進事業 (1,908千円)	首都圏旅行会社教育旅行担当者を対象に、北陸三県修学旅行説明会及び北陸三県エクスカージョンを実施した。また、首都圏・関西圏の旅行会社へ出向宣伝を行い、富山県への教育旅行を学校へ提案してもらえるよう働きかけた。	観光振興室
アートのまちめぐりパスポート事業 (2,997千円)	富山県美術館をはじめ、県内の魅力的・個性的な美術館・博物館を巡るパスポートの造成・販売等を実施した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾との教育交流促進事業 (596千円)	台湾の教育旅行関係者の招聘や県内の学校での教育旅行の受入環境整備に関する支援により、将来の本県へのリピーターづくりや台湾との教育交流の促進を図った。	観光振興室
美術館・博物館等外国人旅行者受入態勢整備事業 (597千円)	民間の美術館等が行う外国人旅行者の受入態勢整備に対する支援を実施した。 ・補助実績 2件	観光振興室
とやま夏期大学の開催 (4,000千円)	富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」を開催し、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけとして、今後の観光振興や交流人口の拡大を図った。 ・開催期間 平成30年7月27日～7月30日 ・開催地 立山国際ホテル	企画調整室
プロスポーツチーム地域活性化事業 (4,500千円)	プロスポーツチームの運営会社に取り組む地域活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。 ・補助実績 3団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施	スポーツ振興課
マラソン大会開催事業 (85,593千円)	北陸新幹線開業を機に県民総参加によるスポーツ振興や富山の魅力創造、交流人口の拡大を図るため、「富山マラソン2018」の開催を支援した。 ・富山マラソン実行委員会等の開催 ・富山マラソン2018の開催(13,718名出走)など	スポーツ振興課
富山県美術館管理運営費 (535,130千円)	平成29年度に富岩運河環水公園内に移転新築した、富山県美術館において、常設展や企画展(5回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
水墨美術館管理運営費 (174,780千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展(7回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
高志の国文学館 管理運営費 (254,883千円)	<p>県民のみならず県外からの観光客にとって、富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展（6回） ・ふるさと文学県民講座等の開催（35回） 	文化振興課
世界的舞台芸術 拠点づくり推進 費 (381,583千円)	<p>「舞台芸術特区T O G A」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界演劇祭「利賀サマー・シーズン2018」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育 	文化振興課
イタイイタイ病 資料館管理運営 費 (44,748千円)	<p>イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、施設展示や情報発信を通じて、その教訓等を後世に継承するための事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・語り部講話、県民フォーラム、特別企画展 ・小学生を対象とした現地ツアー、研究講座 ・資料の収集及び保管 等 	健康課
とやま中小企業 チャレンジファ ンド ビジター 対応ビジネス支 援事業（再掲） (6,485千円)	<p>北陸新幹線開業、外航クルーズ船寄港、富山ー台北便増便等交通基盤の拡充に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・採択件数 7件 	経営支援課
とやま帰農塾推 進事業 (5,424千円)	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、農林水産業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流人口の拡大、移住の促進、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま帰農塾の開講（8市町10ヶ所 全10講座） ・三大都市圏等へのPR 	農村振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
サイクリングコース整備事業 (再掲) (127,600千円)	<p>「富山湾岸サイクリングコース」の延伸整備や、より安全で快適に富山湾の素晴らしい眺望を楽しんでいただけるよう、海沿いにて新たな自転車専用道路等の整備を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ナビゲーターラインの整備 ・コース分岐点路面表示の設置 ・自転車専用道路等の整備 	道路課
うるおいある景観づくり推進事業費 (5,445千円)	<p>地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「景観づくりフォーラム2018」の実施 ・景観づくり顕彰「うるおい環境とやま賞」の表彰 ・景観づくり住民協定に基づく修景に対する支援 ・ふるさと眺望点(30地点)の普及啓発 ・景観アドバイザーの派遣 	建築住宅課

(6) 冬季の魅力創出による通年観光の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園等賑わい空間創出事業 (再掲) (19,185千円)	<p>富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「夏まつり」「スイートクリスマス」「ウインターファンタジア」での音楽花火のショーや水辺のコンサートなどのアーティスティックなイベントの実施 ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など 	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (再掲) (9,000千円)	「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。 ・秋の陣(富山産業展示館、平成30年10月27日～28日) 県内外から約30,000人が来場 ・冬の陣(魚津市内、平成31年2月2日) 「越中料理と地酒を楽しむ会」 県内外から243人が参加(うち県外から60人参加)	農林水産企画課
「富山のさかな・水産加工品」ブランド化推進事業(再掲) (25,120千円)	全国的に知名度が向上してきた「富山のさかな」のブランド力をより強固なものとし、一層の販路拡大等を図るため、首都圏における重点PRや実食機会の拡大による評価向上に取り組んだ。 ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページ等の多言語化(英語、北京語、台湾語) ・「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成31年2月6日 サザンキャピトルホテル東急(東京)) ・「うまさ一番 富山のさかな」商談会の開催 (平成31年2月6日 サザンキャピトルホテル東急(東京)) ・「富山のさかな」PR in 大宮の実施 (平成30年11月11日・12日 JR大宮駅) ・「高志の紅ガニフェア」の開催 (平成30年10月22日～28日 日本橋とやま館) ・若者などの注目度の高い著名人の知名度やSNSの情報発信力を活かしたPR強化 など	水産漁港課

4 戦略的なプロモーション

(1) 「海のあるスイス」のイメージ醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (500千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・都市圏における宣伝PR活動 など	観光振興室
観光季刊誌「ねまるちゃ」発刊事業 (22,995千円)	旬の観光情報や食・体験・イベント等をPRする観光情報誌「ねまるちゃ」を発行し、JR首都圏各駅に配架するなど大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信した。	観光振興室

(2) ターゲットの特性に応じ、リピーターや定住をも意識した効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「いきいき富山館」管理運営事業 (46,148千円)	東京アンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナーでの実演販売や、館外での観光・物産キャンペーン等を開催して、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。 ・各種特産品フェア、実演・試食販売 ・企業での特産品販売、物産観光展への出展など	観光振興室
富山県の物産と観光展の開催 (32,205千円)	東北及び大都市圏において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。 ・大阪（平成30年8月24日～26日） JR大阪駅 ・東京（平成30年11月8日～11月10日） JR上野駅 ・仙台（平成30年11月16日～11月18日） JR仙台駅 ・名古屋（平成31年3月8日～3月10日） 金山総合駅	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北海道における 富山県の物産と 観光の紹介事業 (3,000千円)	北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施し、本県への誘客や特産品販売の拡大を図った。	観光振興室
「ツーリズムE X P Oジャパン」 出展事業 (9,000千円)	世界最大級の旅のイベント「ツーリズムE X P Oジャパン 2018」に富山県ブースを出展して本県への誘客を促進した。	観光振興室
V R 技術等を活 用した観光プロ モーション事業 (10,862千円)	V R 映像、「富山観光MAP」AR対応版の制作など最新技術を導入した観光P R ツールを制作し観光プロモーションに活用するほか、「とやま観光ナビ」スマートフォン版サイトの発信力強化を実施した。	観光振興室
観光パンフレッ ト等作成 (5,104千円)	県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光イラストMAP」を作成・配布し、誘客を図った。	観光振興室
「パノラマ・キ ット富山」新聞発 行事業費 (3,500千円)	首都圏を中心に発行する「パノラマ・キット富山」新聞の制作を支援し、首都圏等からの観光誘客の促進や本県の認知度向上を図った。 ・発行回数 1回 (H30年4月発行) ・発行部数 125万部 ・発行地域 首都圏、富山県、石川県	観光振興室
観光季刊誌「ねま るちゃ」発刊事業 (再掲) (22,995千円)	旬の観光情報や食・体験・イベント等をP R する観光情報誌「ねまるちゃ」を発行し、J R 首都圏各駅に配架するなど大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信した。	観光振興室
観光ホームペー ジ等更新事業補 助金 (1,200千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」の内容の充実等により、富山県の魅力を国内外にP R し、観光誘客の促進を図った。 ・観光ホームページのサーバー運営管理 ・既存ページの修正・情報追加 ・セキュリティ対策 など	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (35,402千円)	(公社)とやま観光推進機構が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。 ・一般消費者向け観光PR事業 (新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など) ・旅行会社向け観光PR事業 (出向宣伝、観光説明会 など) ・観光PR資料作成事業 (各種観光情報誌の発行 など)	観光振興室
「ねんりんピック富山2018」参加者等観光促進事業 (4,300千円)	「ねんりんピック富山2018」の県外参加者等に向けた観光情報や着地型旅行商品を紹介した特別パンフレットを制作し、ねんりんピック期間中に当日予約ができる着地型旅行商品を販売した。	観光振興室
冬季誘客促進事業 (431千円)	冬季は、観光客の入込数が落ち込むこと、天候や積雪等により個人旅行者の移動手段の確保が困難になることから、多くの観光客を呼び込むため、まとまった人数の観光客の誘客が見込める団体ツアーに対して助成を行った。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」フランス総会派遣事業 (10,218千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会 in 富山の開催正式決定に向け、フランス総会に出席し、富山湾の魅力PR等に取り組んだ。	観光振興室
「世界で最も美しい湾クラブ」台湾総会派遣事業 (1,040千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会 in 富山の開催正式決定を踏まえ、台湾総会に出席し、富山への多数の来訪を呼びかけた。	観光振興室
国内加盟湾連携シンポジウム開催事業 (1,657千円)	富山湾の活用・保全に係る取組みや国内加盟湾との連携促進に向けたシンポジウムを開催した。	観光振興室
美しい富山湾ブランド発信事業 (5,241千円)	「世界で最も美しい湾クラブ」世界総会 in 富山の開催記念PRグッズ等の制作による富山湾ブランドの発信に取り組んだ。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「世界で最も美しい湾クラブ」富山県総会での魅力発信事業 (7,124千円)	富山湾を中心とした本県の魅力を動画や画像等で紹介するデジタルコンテンツの制作に取り組んだ。	観光振興室
首都圏情報発信拠点運営事業費 (143,009千円)	物販、飲食、観光・定住・U I J ターン情報の提供等の機能を有する「日本橋とやま館」から、上質なライフスタイルを発信した。 ・H30年度来館者数：約27万5千人 ・ 〃 売上げ：約2億9,000万円	企画調整室
首都圏とやまの魅力発信事業 (29,962千円)	日本橋とやま館を活用し、館主催及び県内市町村、県庁内各課との共催イベントの開催や本県の魅力を紹介するフリーペーパーの発行、スタンプラリーや地域イベントへの参加など、本県独自の魅力について情報発信を行った。	企画調整室
首都圏観光・定住促進事業 (13,000千円)	日本橋とやま館において、観光・定住に関する相談及び情報提供を行った。 ・H30年度相談対応：延べ約3万1千人	企画調整室
首都圏とやま魅力発信ネットワーク強化事業 (14,894千円)	三越と連携したイベントの開催や、商品と本県の魅力とを組み合わせたカタログ作成など、新規顧客の拡大を図った。	企画調整室
首都圏魅力発信イメージアップ事業 (6,471千円)	首都圏メディアへのリリース配信、マスコミ各社とのリレーション構築やキャラバン訪問、イベント出展により、首都圏における誘客、販路開拓や定住・半定住、U I J ターンの促進を行った。 ・リリース配信 12回 ・キャラバン訪問 3回 ・イベント出展 6回	企画調整室
トヤマ・ジャスト・ナウ (1,832千円)	県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームページ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載し、富山の最新情報をタイムリーに情報発信した。 ・毎週水曜日に1つの記事をホームページで配信	広報課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
元気とやま応援 寄附金 (6,433千円)	一定額以上のふるさと納税(寄附)者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源のPRを行った。 ・リーフレットの作成、配布 ・HPでのPR ・寄附金額に応じ、「富富富」、アイスクリームスプーン、地酒、ほたるいか詰合せ等を贈呈 【H30年度：申込者数 856人、申込金額 18,066千円】	税務課
富山くすりフェア開催事業 (2,000千円)	平成31年3月6日～8日まで、東京駅丸の内南口前のJPタワーKITTEにおいて、「富山のくすり」の歴史や医薬品産業の現状を紹介する展示を行い、首都圏に向けて「富山のくすり」の魅力を発信した。	くすり政策課
「富山のくすり」 販路拡大推進事業 (800千円)	(一社)富山県薬業連合会が日本橋とやま館において開催した「出会いが効く越中富山くすりフェア」を支援し、大都市圏において「富山のくすり」の魅力を発信した。 日時：①平成30年11月23日～11月25日 ②平成31年2月8日～2月10日 場所：①日本橋とやま館(東京都) ②日本橋とやま館(東京都)	くすり政策課

(3) 交通事業者、大手旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーション

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
J Rタイアップ富山旅行定着促進事業 (26,701 千円)	<p>J R各社とのタイアップによる広告宣伝等を展開し、北陸新幹線の開業効果の持続並びに誘客促進を図った。</p> <p>【首都圏・新幹線沿線地域でのタイアップ(J R東日本)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・びゅう旅行商品「富山とりっぷ」の造成 首都圏・長野・南東北発着商品として年4回展開 <p>【関西圏・中京圏でのタイアップ(J R西日本・東海)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手旅行会社における旅行商品の造成促進 	観光振興室
北陸三県通年誘客キャンペーン事業 (10,000 千円)	<p>北陸三県や北陸経済連合会、J R西日本等と連携し、大都市圏に向けた一体となった誘客キャンペーンを通年で展開した。</p> <p>【キャンペーンにおける主な成果】(H29 年度比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立山黒部アルペンルート入込数 106% ・富岩水上ライン乗船者数 101% ・ひみ番屋街来客者数 104% 	観光振興室
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000 千円)	<p>北陸新幹線開業効果の持続・深化を図るため、北陸三県並びにJ Rとの連携のもと、より効果的な北陸観光キャンペーン事業を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レジャー記者招聘 ・大都市圏での観光素材説明会開催 ・観光情報誌「北陸物語」の発行 など 	観光振興室
北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500 千円)	<p>北陸への観光誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などからなる協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業など 	観光振興室
新幹線駅利用促進・観光魅力創出事業 (2,974 千円)	<p>首都圏や北陸新幹線開業でアクセスが向上した東北エリアにおいて、本県の各新幹線駅周辺地域における文化や伝統、歴史などをテーマとした講座・ツアーを実施するとともに、「新高岡駅」「黒部宇奈月温泉駅」からの周遊を喚起するポスターを制作した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化や伝統、歴史などをテーマとした講座5回実施 ・講座テーマに関連したツアー造成に対する補助7件 	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山県・岐阜県連携観光誘客事業 (7,067千円)	富山県・飛騨地域の広域観光周遊ルートを確立するため、岐阜県と連携し、高速道路定額プラン作成や旅行商品の造成、両県を巡るツアーバスの運行支援を行い、エリアのブランド価値向上と周遊観光の促進を図った。 ・高速道路定額プランによる周遊促進 ・東海北陸自動車道全面開通10周年記念イベント ・旅行商品造成支援 ・ツアーバス運行支援	観光振興室
飛越能経済産業観光都市懇談会負担金 (100千円)	飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・インバウンド向け観光ポータルサイト構築 ・ファムトリップの実施 ・イベント相互交流事業 など	観光振興室
富山・長野新旅行商品造成促進事業 (1,487千円)	個人旅行者をターゲットにした首都圏郵便局での共同プロモーションや両県を周遊する旅行商品造成、インフルエンサーを招聘した情報発信を実施した。	観光振興室
(公社)日本観光振興協会観光情報システム負担金 (200千円)	(公社)日本観光振興協会へのシステム負担金の拠出により、自治体や市町村観光協会等が情報の更新を行う国内旅行ポータルサイト「全国観るなび」及び同更新システムの運営を支援した。	観光振興室
「ぶり・ノーベル街道ウォーク」負担金 (1,000千円)	ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道41号沿線地域(ノーベル街道)のウォーキングを通じて、その魅力を体感してもらう「ぶり・ノーベル街道ウォークツアー2018」(富山市2回、飛騨市1回)を開催し、ノーベル街道を中心とする広域観光の振興を図った。	観光振興室
富山県産品魅力発信事業 (2,000千円)	県内外から多くのお客さまが集まる時期に、県内事業者とともに県産品をPRするイベントを開催し、旅行者に富山県の食や伝統工芸品の魅力を発信した。	観光振興室
富山-東京便利用団体観光旅客誘致事業 (29,175千円)	富山-羽田便の利用促進のため、同便を利用する団体旅客に対して、宿泊費等の助成を実施した。	総合交通政策室
ディスカバー北陸プロジェクトへの参画 (850千円)	北陸三県の行政と新聞社が連携して、首都圏および北陸三県の大学生と協働した取組みを行うなど、北陸エリアの地域力向上のための事業を実施した。	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600千円)	北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・大学生観光まちづくりコンテストへの参加 ・首都圏の交通事業者と連携したイメージアップイベントの実施 ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など 	地域振興課
飛越地域等との交流推進事業 (536千円)	飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地域振興を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、この地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、祭りや伝承、匠の技や味等のPR活動を全国に向け展開した。 (協議会の主な事業) <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやホームページによるPR ・飛越地域への誘客の促進 	企画調整室

(4) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
映画を活用した観光PR事業 (5,000千円)	本県が舞台やロケ地となる映画の誘致を進めるとともに、これらの映画を活用した観光PRを実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・映画「四月の永い夢」、「ばあちゃんロード」、「散り椿」、「ここは退屈迎えに来て」、劇場アニメ「君の膵臓をたべたい」のロケ地PR 	観光振興室
木曾義仲・巴御前魅力発信事業 (1,000千円)	越中富山を舞台に活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発掘などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・義仲・巴の魅力を積極的にPRするため、歴史雑誌に特集記事を掲載するとともに、出典付年表を活用した作品化に向けた働きかけを実施 ・埴生護国八幡宮など、県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 	企画調整室

5 国際観光の推進：新たなゴールデンルートの形成に向けて

(1) 広域観光周遊ルートの形成促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ビジット・トヤマ広域連携強化事業 (25,377千円)	北陸新幹線沿線地域や国の訪日プロモーション地方連携事業等と連携して、旅行会社、メディア等の招へいや現地プロモーションの実施等により、「新ゴールデンルート」など広域観光周遊ルートの形成促進を図った。	観光振興室
(一社)中央日本総合観光機構負担金 (3,000千円)	中部9県3市の観光事業に関する中枢機関である(一社)中央日本総合観光機構の会員として、域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。	観光振興室
北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800千円)	北陸3県及び管内自治体等と組織している北陸国際観光テーマ地区推進協議会において、海外の旅行博への出展や旅行会社等の招聘を実施するなど、広域観光の促進を図った。	観光振興室
(独)国際観光振興機構負担金 (700千円)	(独)国際観光振興機構(JNTO)の賛助団体に加入し、JNTOの海外事務所のネットワークを活用した訪日旅行市場に関する情報収集や海外へのPRにより、本県の海外での認知度向上を図った。	観光振興室
高山本線利用促進PR事業 (2,000千円)	外国人向け日本情報ポータルサイト「ジャパンガイド」に、高山本線を利用して高山から富山を訪問する旅行動画を掲載し、高山本線の利用促進を図った。	総合交通政策室

(2) 外国人個人旅行者(FIT)の受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
東南アジア等外国人対応飲食店育成事業 (3,000千円)	県内飲食店を対象としたベジタリアン、ムスリム受入対応研修会の開催等を実施した。	観光振興室
国際観光インターンシップ促進事業 (2,492千円)	ホテル・旅館が受け入れる台湾のインターンシップ学生に対する日本語研修等を実施し、ホテル・旅館事業者の外国人宿泊者へのサービス向上等を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業(再掲) (5,039千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広域観光案内標識(県事業) 設置件数 1件 ・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新規6件 改修13件 	観光振興室
訪日旅行・富山 旅行センター運 営事業(再掲) (17,425千円)	訪日外国人対応を強化するため、英語、中国語対応が可能な観光コンシェルジュを富山駅構内に配置した。	観光振興室
とやま観光未来 創造塾事業(再 掲) (8,803千円)	<p>おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。</p> <p>○修了生 53名</p> <p>(内訳)観光おもてなし入門コース 19名 観光ガイドコース(中級専攻) 12名 観光ガイドコース(上級専攻) 1名 観光ガイドコース(インバウンド専攻) 7名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 3名 〃(観光地域リーダー専攻) 6名 観光地域づくりマネジメントコース 2組5名</p>	観光振興室
とやま名誉友好 大使の委嘱 (60千円)	<p>外国人の本県在住経験者を「とやま名誉友好大使」に委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規委嘱数 34人 (全体1,495人委嘱) 	国際課

(3) 欧米豪など新規市場に向けた効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米観光客誘致 旅行サイト等活用事業 (17,959千円)	世界最大の旅行サイト「トリップアドバイザー」や「ミシュラン・グリーンガイド」を活用し、欧米からの誘客促進を図った。	観光振興室
伏木富山港クルーズ拠点化推進事業 (23,437千円)	クルーズ誘致に係るコーディネーターやセールス専門員の配置、発着クルーズ推進補助制度の創設、欧米船社等の招聘等に取り組んだ。	観光振興室
環日本海クルーズ推進連携事業 (1,280千円)	小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港で構成する「環日本海クルーズ推進協議会」の運営（海外船社幹部の招聘等）、全国クルーズ活性化会議への参加に取り組んだ。	観光振興室

(4) 東アジア・東南アジアからのリピーター拡大

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾冬季誘客促進PR事業 (1,318千円)	冬季の着地型観光商品の造成に対する支援や旅行会社の招聘等を実施し、台湾からの冬季誘客促進を図った。	観光振興室
富山ー台北便活性化誘客推進事業 (32,340千円)	台北ー富山便を利用する富山ツアーを催行した台湾の旅行会社を支援し、台湾からの誘客促進を図った。	観光振興室
台湾観光案内サポーター設置事業 (1,092千円)	台湾出身の観光案内サポーターを設置し、繁体字での情報発信や観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光振興室
2018 日台観光サミット in 台中派遣等準備事業 (6,368千円)	2019 日台観光サミットの富山県開催に向けて台中市でのサミットへ参加した。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
香港観光客誘致 コンサルティング 業務委託事業 (3,600千円)	現地旅行会社等との連絡調整、情報収集を行うコーディネーターを配置し、香港からのさらなる誘客促進を図った。	観光振興室
香港・大連観光 プロモーション 事業 (9,278千円)	香港での観光PRイベント、大連の旅行会社等を対象とした観光説明会を実施し、誘客促進を図った。	観光振興室
中国ANA等連 携プロモーション 事業 (3,885千円)	ANA等と連携した現地旅行会社の招聘を実施し、中国からの誘客促進を図った。	観光振興室
中国便利用促進 に向けた観光客 誘客促進事業 (40,387千円)	上海－富山便、大連－富山便を利用する富山ツアーを催行した中国の旅行会社を支援し、中国からの誘客促進を図った。	観光振興室
中国オンライン 旅行会社活用誘 客促進事業 (4,400千円)	中国最大手のオンライン旅行会社「C-trip」を活用した旅行商品等の効果的な情報発信により、中国からの誘客促進を図った。	観光振興室
大連観光プロモ ーション事業 (7,467千円)	富山－大連便の週3便化を機に、大連の一般消費者向け観光PRイベントと大規模屋外広告を実施し、誘客促進を図った。	観光振興室
観光客誘致広告 支援事業 (3,300千円)	中国、韓国の旅行業者等が企画・催行する富山県向け旅行商品の広告制作を支援し、誘客促進を図った。	観光振興室
富山－ソウル便 活性化観光客誘 致促進事業 (18,230千円)	ソウル－富山便を利用する富山ツアーを催行した韓国の旅行会社への支援等により、韓国からの誘客促進を図った。	観光振興室
東南アジア等A NAグループ連 携富裕層誘客事 業 (5,852千円)	ANAグループと連携し、富裕層向け現地旅行会社の招聘、富山－羽田便を利用した富裕層向け旅行商品の造成支援、現地ランチョンセミナーの開催等により、東南アジアからの誘客促進を図った。	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
大連事務所運営費 (22,757千円)	<p>富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点にし、観光振興のための各種取組みを展開し、中国からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大連日本商品展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション（北京、瀋陽、大連）」等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等 	国際課
とやまの農林水産物輸出促進事業 (16,238千円)	<p>県産農林水産物の海外への輸出を促進するための各種施策を展開し、海外に向けて県産農林水産物の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港、台湾、シンガポールの食品バイヤーとの県内商談会の開催 ・香港フード・エキスポへの参加 ・シンガポール「Food Japan」への参加 など 	農林水産企画課

6 コンベンションの誘致促進：国際会議も富山で開こう

(1) 国際会議の誘致強化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際会議「富山で開こう。」推進事業 (2,008千円)	<p>I C C A (国際会議協会)のデータベースを活用した国際会議誘致の強化や、国際会議サポーターの育成、飲食店等の外国語表記に対する支援を実施した。</p> <p>また、大学教員等、県内のコンベンション主催者を対象に本県の支援制度等を紹介するセミナーを実施した。 (平成30年10月2日)</p>	観光振興室

(2) 本県の特色等を活かした戦略的なコンベンション誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公財)富山コンベンションビューロー補助金 (14,881千円)	(公財)富山コンベンションビューローの運営経費等に補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光振興室
コンベンション指導情報提供業務委託事業 (5,000千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光振興室
コンベンション誘致促進事業 (2,676千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。また、コンベンション参加者の満足度向上を図るため、会場において運営補助を行なうスタッフを配置するとともに、観光案内等を行うインフォメーションコーナーを設置した。	観光振興室
コンベンション誘致宣伝事業 (1,960千円)	<p>本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会への出展や主催者招へい事業を実施した。本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカージョンのモデルコース等を視察してもらうなど、コンベンションの誘致に努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商談会 平成31年2月28日(東京) ・国際会議キーパーソン招へい・商談会 平成31年2月26日～27日(富山) 2月28日(東京) 	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
誘致訪問活動 (1,282千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンション開催の誘致促進を図った。	観光振興室
富山型 MICE 講座開催事業 (999千円)	MICE の専門家を富山県に招へいし講座を開催することにより、県内関係者のおもてなし・サービス力の向上と、MICE 業界での「富山」の存在感アップを図った。	観光振興室
富山型 MICE 競争力強化事業 (2,495千円)	観光庁が実施する「マーケティング機能高度化支援事業」により、海外有識者のコンサルティングを受け、国際会議の誘致力強化を図った。	観光振興室
「富山で合宿！」 誘致事業 (9,758千円)	県外の大学、短大、高校等が県内で行うクラブ、サークル等の合宿に係る費用の一部を助成し、富山県への合宿の誘致促進を図った。 ・補助実績 93 団体	地域振興課

(3) 主催者のニーズに配慮した支援制度の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山国際会議場 運営費補助金 (28,851千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光振興室
学会等開催補助金 (12,013千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 23 件	観光振興室

(4) 富山の魅力を活かしたユニークベニューやアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション タクシー助成事業 (968千円)	県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援した。 ・補助件数 183 件	観光振興室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
おもてなしタクシードライバー養成事業(再掲) (1,382千円)	<p>タクシー利用者の満足度向上を図るため、質の高いおもてなしやきめ細やかなサービスを提供できる「おもてなしタクシードライバー」を表彰し、ドライバーの接客やサービス意識の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養成研修：平成30年7月12日 ・表彰：平成30年12月2日、表彰者21人 <p>コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接客等、おもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年6月7日・14日・28日・29日、8月9日 ・参加者117人 <p>来県者に心地良くタクシーに乗車していただくため、関係者間で協議し、おもてなしの機運を高めることを目的とした「タクシードライバー接客ブラッシュアップ会議」を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年4月12日、12月25日 	観光振興室